



建
コ
ン
九
州
支
部

プロフェッショナルの使命を

建設コンサルタンツ協会九州支部（福岡宏治支部長）は7日、福岡市の西鉄グランドホテルで支部創立50周年記念事業を開いた。福岡支部長は「災害多発国において、命を守る社会資本整備に役立つことが我々プロフェッショナル

は常に地域と共にあり、専門家としての立ち位置を堅持していただく。安全と安心を守り地域の成長の一翼を担うお手伝いをする。これは今後の50年も変わらない」と誓った。

来賓挨拶で、増田博行九州地方

260人集い50周年記念式典

の使命だ」と決意を新たにした。式典には、国土交通省、自治体、大学関係者、会員ら260人が出席。福岡支部長は、いざなぎ景気

整備局長は「20年以上前から、局との災害時協定に基づき支援頂いている。会員各位と日本の将来のため、引き続き連携を強化していきたい」、小川洋福岡県知事は「地方創生の実現には、インフラ、文化、景観、歴史など地域の特色に適した整備が求められており、その橋渡し役がまさに建設コンサルタンツの皆様だ」と祝辞を述べた。

永年会員会社表彰や、記念事業として実施した「つばやき土木写真コンテスト」の優秀作品表彰、支部長を経験した植田薫氏と村島正康氏の挨拶などもあり、式典後には、ペシャワール会現地代表の中村哲医師による記念講演会や、来賓を招いた記念祝賀会を開いて50年の節目を祝った。

九州支部は1968年6月に20社で活動を開始。年々会員数が増え続け現在は150社となり、関東支部と並ぶ会員数を誇っている。